



いつまでも忘れない夏休みに

校長 古井丸 裕三

新聞やテレビが、もうすぐパリ オリンピックが開幕することを伝えています。今年は、いつもより少しにぎやかで、華やかな夏休みになりそうです。自分の目標に向けて努力を重ねてきたアスリートたちが、全力を出し切って真剣勝負をする姿を見て、子どもたちにも多くのことを感じてほしいと思います。

さて、1000年もの昔、清少納言は『枕草子』で、「夏は夜 月のころはさらなり やみもなほ 蛍の多く飛びちがひたる また ただ一つ二つなど ほのかにうち光りて行くもをかし 雨など降るもをかし」とつづっています。夏は夜がいい。満月のころは言うまでもなくすばらしい。月が出ていない闇もやはりいい。ホタルが乱れ飛ぶ様子も、1匹2匹でほのかに光っているのもいい。雨が降っているときもいい……。そんな情景を思い浮かべると、1000年以上の時を経た今でも、一つ一つの言葉が深く心に沁み込んできます。

最近、夏の強い日差しを浴びれば、紫外線や熱中症が心配になり、夕立や通り雨はゲリラ豪雨となり何日間も熱帯夜が続くこともしばしばです。地球温暖化の影響、生活様式や住宅事情の変化により、日本の夏の風情は、だんだん失われつつあるような気がしています。

そのような中で、変わらぬ夏の風景の一つが朝顔です。小学校では一年生が育てていて、たくさんの花が咲いています。児童が朝から水をあげている姿を見て、自分が小学生だったころ、学校で朝顔を育てていたことを思い出しています。夏休みに入ると、プラスチックの鉢を持ち帰り、家で世話をしました。あれからかなりの時が過ぎましたが、朝早く起きて、朝顔に水をあげるときの気持ちよさを覚えています。早朝のひんやりした空気の中、じょうろに水を汲んで朝顔にかける。じょうろの水が青々とした葉の上で跳ね、ピンクや紫の大きな花の真ん中に溜まります。その瑞々しい姿がとても美しく見えました。子どもたちにも、目で見、肌で触れて、空気を感じて、たくさんの夏の風景を心に刻んでおいてほしいと思います。

夏休みが明け、久しぶりに子どもたちに会うと、その成長した姿に驚かされます。1か月という期間は、子どもたちを大きく成長させるのです。時間を有効に使い、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

夏休みと言えば「宿題」ですが、担任は、次のような意図で宿題を出しています。①基礎的な知識・技能を定着させる ②思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を伸ばす ③自分で学習をコントロールする力を育てる。夏休みの宿題は、自分で目標ややり方を決め、実行する力を育てる絶好の機会です。ご家庭では、次のようなサポートをお願いします。①宿題の意義や効果を伝える(一緒に考える) ②子どもの宿題に関心をもつ ③取り組み方を本人に決めさせる ④取り組んだらしっかりほめる。ある程度は(※「完全に」は危険です!)子ども自身に委ねて、子どもの性格に合った働きかけを柔軟に試しながら子どもがやる気になり、保護者も楽になれる方法を少しずつ見付けていってください。

4月の始業式から73日間、子どもたちはよく頑張ってきました。「小さな社会」である学校では、他者と協調したり、気持ちの折り合いを付けたりしながら生活しなければなりません。少々疲れも溜まるころです。これまでの成長を自覚させる温かい言葉をかけ、時には一息つかせ、「やる気と笑顔」のエネルギーをチャージしてください。今年の夏休みが、いつまでも忘れない、思い出に残る夏休みになりますように。

● 佐渡へ修学旅行に行ってきました〈6年生〉

互いに気を配りながら生活し、自分で考え、判断し、行動する姿に、大きな成長を感じた2日間(6月13日・14日)でした。体験活動や見学場所でのあいさつやマナーがすばらしく、曾根小学校の最高学年にふさわしい立派な姿でした。思い出に残る旅になりました。



● 校祖館に展示する書道作品の制作に取り組みました



曾根天満宮に隣接する、校祖館の書道作品の入れ替えの時期が来ました。書の大家であった「校祖 新保正與先生」のことを思い浮かべながら、丁寧に文字を書きました。今年も地域の書道の先生方から指導していただきました。作品は、西川まつりの期間に地域の方からも見ていただけるようにしたいと思います。

● より良い学校を自分たちの手でつくります〈委員会活動〉



さわやかなあいさつを交わし、お互いの心がつながるように、かしの木委員会が「あいさつ運動」を行いました。他の委員会も、より良い学校生活を自分たちでつくるために、様々な活動をしています。



● 「なないろ班(縦割り班)」の友達と仲良く遊びました



みんなで楽しく過ごすために、お互いを気遣い、協力して活動しようとする姿が見られました。次回の活動も楽しみです。



● 「西川まつり」を盛り上げます〈3・4年 総合学習〉



西川まつりの歴史や最近の様子についてお話を聞いたり、祭りで使われる「山車」を間近に見せてもらったりして、様々な視点から西川まつりについての理解を深めています。積極的に祭りに参加しようとする気持ちが高まり、他の人にも参加を呼び掛けようと、様々な活動を工夫して熱心に取り組んでいます。